

飯塚市総合戦略有識者会議・ワークショップ 主要意見事項一覧

| 会議名 | 意見内容 | 会議のときの回答（総合政策課、担当課） | 対応 |
|-------------------|---|---|--|
| 1 第2回 有識者会議 | ○K P I への追加意見 ・基本目標Ⅱ②に『授業に対しての子どもの理解度』（アンケート） ・基本目標Ⅲ①に『特定検診受診率』 | ・第1次戦略の反省として、第2次総合戦略の指標にアンケートを使用しない方向性。 理由は以下の二点 ア. 各小中学校及びその各学年、クラスにより同様のアンケートは行っているものの、K P I として設定することで、同一様式による同時期での調査を全小中学校で行う必要があり、学校現場での負担が大きい。 イ. 現戦略（第1次）においてアンケートのK P I を設定しているが、前述の理由から未実施となっている。 ・今回の意見を踏まえ、現在各小中学校ですでに実施しているアンケートの中から、子どもの理解度などに利用できるものを検討する。 ・『特定検診受診率』については、専門部会及び課へフィードバックし、協議検討を行う。 | 以下二点を追加する。 ・基本目標Ⅱ②特色ある学校教育の推進のK P I に「プログラミングに関するアンケートで考えを伝えるときや問題を解くときに、筋道や順番に気を付ける児童の割合」 ・基本目標Ⅲ①健幸で魅力あふれるまちづくりの推進のK P I に「特定検診受診率」 |
| 2 第2回 有識者会議 | ○検討する事業等への追加意見 基本目標Ⅱに『5歳児健診』 ※5歳児検診：現在市で行っている3歳児検診を5歳児にも行う | ・代替事業として保育所・こども園・幼稚園に行政保健師と臨床心理士等を派遣する巡回相談を平成21年度より実施中。 ・年に数回集団のなかでこどもの発達を確認し、支援の必要なお子さんのご両親に個別相談や医師相談を案内し、就学に向けて支援しており、5歳児検診については実施の予定がない。 ・検討する事業とは、次年度以降、予算化され実施の可能性がある事業を掲載することとしている。 | ・「5歳児検診」を検討する事業等への追加は行わない。 |
| 3 第2回 有識者会議 | ○文言の追記意見 基本目標Ⅱ 未来を創るひとづくり ①妊娠・出産・子育ての一貫した支援と環境の充実の3行目に、「更年期の一貫した支援と環境の充実と、更年期」の追記を提案。 | ・有識者会議委員からの意見：総合戦略は人口減少に対応するためという趣旨であり、特に移住・定住に関連の深い計画としているため、総合計画のように、すべての事業を掲載する計画ではない。 | ・「更年期」の追加は行わない。 |
| 4 第2回 有識者会議 | ○検討する事業等への追加意見 基本目標Ⅱ「産後ケア事業」 | ・所管課でも事業検討を行っているという回答であることから、検討する事業に追加する方向で、専門部会等で協議を行う。 | ・基本目標Ⅱ①の検討する事業等に「産後ケア事業」を追加する。 |
| 5 第2回 有識者会議 | ○文言の追記意見 S D G s について、達成に関連がある項目を追加提案 | ・S D G s 自体が国際的な国同士の持続可能な開発の目標となっており、この総合戦略の各基本目標一つ一つと突き合わせが困難な状況になる。 ・関連性の深さ、深度を明確な図りがなく、総合戦略全体にかかるものとして、表紙又は総合戦略編のスペース面等にS D G s の17項目を掲げたいと考えている。 | ①S D G s の全体的な説明を総合戦略編に追記する。 ②個別の指標（K P I ）に一番関連が深いと思われる達成目標（ゴール）を追記する。 |
| 6 第2回 有識者会議 | ○基本目標の追加意見 福岡都市圏との交通網の今後の整備方針等について、新たな基本目標を追加提案 | ・基本目標Ⅲの基本的な方針に記載をしているため、新たな基本目標の追加は行わない。 | ・基本目標Ⅲ基本的な方針に、八木山バイパス4車線化や地下鉄延伸等の推進について追記する。 |
| 7 第3回 有識者会議 | ○検討する事業等への追加意見 基本目標Ⅲに市民に対する新築住宅取得補助事業を追加提案 | ・新築補助は市外からの移住者を主にした施策であり、検討する事業等への追加は難しい。市としては空き家を増やさないことも必要であることから、中古住宅取得やリフォーム等への補助事業はある。 | ・「市民への新築住宅補助」について検討する事業等への追加は行わない。 |
| 8 第3回 有識者会議 | ○文言の追記意見 総合戦略編で各目標が相互に連携し、高めるような記述を追加提案 | ・記載内容等について検討する。 | ・総合戦略編第2章-2の飯塚市における3つの基本目標欄に繋がりを追記する。 |

飯塚市総合戦略有識者会議・ワークショップ 主要意見事項一覧

| | 会議名 | 意見内容 | 会議のときの回答（総合政策課、担当課） | 対応 |
|----|---------|---|---|----|
| 9 | ワークショップ | <p>○学生が参加できるまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯塚市には3大学あり、若年層の転入者が毎年一定数いることが強み。 ・卒業時に転出されている現状を早期に解決することは困難であるが、飯塚市や筑豊地区の魅力を知り、卒業後も飯塚市へ関心、関係性を維持する関係人口へ発展させることが必要。 ・飯塚市には大学生等の若年層がおしゃれと感じる空間・店舗がない。 ・飯塚市においてもリノベーション事業等は進行中であるが、情報が届いていない。また、大学生等を含む若年層のリノベーション事業の参画が少ないと感じる。 ・大学生等で市内で買い物や外食などが少ないように感じる。 ・学割による学生の市内店舗等の利用機会を拡大し、魅力の発見やSNS等を通じた情報発信によるPR効果が期待できる。 ・市内でバーベキューができる場所がない、または情報が届いていないと感じる。 <p>【事業例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学割の拡大推進事業 ・おしゃれな空間づくり事業 ・バーベキューができる場所の確保及びPR事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・リノベーション事業は、現在都市計画課で行っており、来年度も引き続き講演会やスクールを行う予定である。学生等の若年層の参画は大変重要であると考えているため、学生が参加しやすい仕組みづくりや周知方法を再検討する必要がある。また、若年層がおしゃれと感じる空間づくりには、リノベーションスクールを通して、学生がどのような場を求めているのかを知り、事業化することで飯塚市の魅力づくりのひとつとなりうると考える。 ・市内のバーベキューができる場所については、都市計画所管内の施設等では、河川敷のみである。都市公園等でもバーベキューエリアを設置することができれば飯塚市の魅力向上につながると考える。事業化には様々な検討を行う必要があるとともに、情報発信（周知）の方法についても検討する必要がある。 | |
| 10 | ワークショップ | <p>○飯塚市における戦略的な広報活動の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報、HP、SNS等による広報活動を行っているが、市民や市外へ効果的にPRできていないと感じる。 ・PRする事業等に原因があることも考えられるが、飯塚市全体で広報に対する戦略性が感じられない。 ・各広報手段を利用しているだけで、各事業のターゲットに対する効果的な手段の選択を行えていないと感じる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指摘のあった効果的なPR、戦略的な広報活動の方法について、（情報政策課を中心として）調査・検討を行う。 ・SNSについては今後、（情報政策課を中心として）部会を設立し、各ツールの特性を生かした情報発信方法・企画等について協議を行っていく。 | |